

2020年「忘年会」に全員集合!!

企画 精神保健福祉ボランティア
ホワイトナッツ

2020年はコロナ禍で 予定していた企画が殆んど中止・延期となつてしまいました。

恒例の「どこより早い忘年会」だけは感染拡大にならないよう 万全の対策をして 下記のとおり開催したいと計画しました。

みなさんのご協力で楽しい会になりますよう ご案内とお願いを申し上げます。

記

- 1 日時 11月22日(日) 12時～(開宴1時)
- 2 会場 ふれあい福祉センター 5階ホール
- 3 参加費 600円

(準備をお手伝いくださる方は 午前11時に
4階「調理室」へ集合してください)

- 4 申し込みは Tel 226-8740 (本田) まで
11月13日(金) 締め切り

アトラクションは 長野らくらく倶楽部さん

当日参加者の「出しもの」は大歓迎です。「かくし芸」・「おもて芸」を携えてお出かけください。





皆さんからの
『オテガミ』
大募集



私たちは
忘れていません
東日本大震災からもうすぐ10年
エールを送ろう

三陸へ届け、この想い…

大災害からまもなく10年になります。
多くのもを失った方々は、今、心の奥に空虚さと消えない哀しみをしまい込んで
強く逞しく新しい陸前高田のまちづくりに頑張っています。

私達「被災地オテガミプロジェクト」は、発災の翌年から今日まで、陸前高田の皆様へ寄せる
想いや、古本による寄付金の取次などをしてまいりました。

「忘れてはいけない」あの災害の節目を前にして、改めて皆さまのご協力をいただき
この10年の想いと新しい陸前高田へのエールを集めて、現地に届けたいと考えました。

下記の要領で「オテガミ」を募集いたします。
趣旨にご賛同いただき、多くの皆さまからの「オテガミ」をお待ちしております。

◆陸前高田へ送付◆

令和2年12月
令和3年3月上旬

「奇跡の一本松ホール」
「アバッセたかた」に展示

◆オテガミを展示◆

ながの東急百貨店内5F
別館シエルシェとの通路

※揭示予定月

令和2年11月 11/26 12/2
令和3年2月 2/25 3/3

◆募集方法◆

〒380-0833 長野権堂郵便局

陸前高田のみなさま宛

適宜の方法でお願いします
※最終締め切り

令和3年2月20日

主催 被災地オテガミプロジェクト (久保田 090-2455-5677)

(公益財団法人 長野県長寿社会開発センター 長野地区賛助会グループ)

後援 長野市教育委員会

「被災地オテガミプロジェクト」活動について

1、経緯など

2012年6月、被災地訪問の旅の途上、陸前高田を訪れ、交流が始まる。

同年10月、長野県シニア大OB有志で、陸前高田の被災者に対する想い＝「オテガミ」を届ける事を目的とした団体結成。オテガミ収集と現地社協など配布等委託先探しを開始。オテガミの長野権堂郵便局留め扱い開始、長野市教育委員会の後援、メディア取り上げ等を契機にオテガミも徐々に増加。当初は、お手製の干ポストを持ってお願いに行った老舗喫茶店で相手にされず、飲んだコーヒーの釣銭を投げ返されるような扱いもされた。しかし、大惨事直後の現地で余分な仕事が増える中、快くご理解頂いた社協さんには心から感謝している。その後今日まで現地には計16回訪問し、多方面の方々とのパイプが出来た。今毎日現地の新聞を隅々まで読んでいる。先日もある方がお手紙で「私達よりこちらの事が詳しいですね」とお世辞を言われた。週に4～5回は現地の何方かと会話やメールをしている。「オテガミ」の協力者には、是非陸前高田のファン(思民)になってほしいとの思いから、必ず、現地紙・東海新報を要約した「現地情報」等を添えてお礼状を出している。その「現地情報」も今では203号。その他、人口推移・仮設居住者推移、復興事業の進捗状況等々々々の推移を市当局から聴取しての「陸前高田の現状」の作成・更新。

平成29年、津波で全壊し甚大な被害のあった市立図書館について、古本回収による再建支援のスキームがある事を知り、早速主宰しているバリューブックス社を東京・千駄ヶ谷に訪ね契約。そして「オテガミ」管理帳により、協力者へのDM発送やチラシ、マスメディアのご協力を得てキャンペーンを張り、陸前高田市図書館ゆめプロジェクトを始めた。(現在はチャリボン)。

2、主な活動の実績 (2012.10~2020.8.25)

- ・寄せられたオテガミ 6,118件(夏のうち大好評…シニア大・賛助会から毎年約70本)
鍋屋田小全校児童生徒約260人による寄せ書きは5年連続。(寄せ書きは1件のカウント)
- ・古本による寄付金(バリューブックス社経由) 329,756円。(7月末現在)
- ・台風19号被災地への陸前高田などからのオテガミ等取次 389件。アルクマ珈琲120件。
- ・現地訪問16回。(主なもの) 第1回:2012.6 第2回:2012.9…社協にオテガミ委託依頼、第6回(2014.5):シニア大飯伊学部ボランティア会と同行、陸前高田の他、石巻/大川小、福島/相馬、南相馬、浪江町訪問、第13回(2016.11):合唱団コール・スマイルと26人で、現地3合唱団とコーラス交流、第15回(2018.4)高田松原のマツ植樹祭に参加26人。前日は11の家庭に民泊し被災状況など語り明かす。
- ・絵手紙展 2016.8.5~8.11 権堂イーストプラザ及び8月陸前高田「りくカフェ」で。
作品は長野シニア大及び賛助会の皆さんの「うちわ」、陸前高田「はまなす」の皆さんの絵手紙。
- ・『「大震災から8年 現地に学びつながる交流会」～陸前高田・大槌の皆さんと語ろう』(2019.3.9)
陸前高田3人、大槌2人をパネリストとして招待、長野の参加者220人。メディア取材9社。現地アパッセと結んでライブ交流各5組、会場からの質問67件等パネリストとの活発なやり取り。陸前高田物産即売会は早々に完売。場所は交流会:しなのき、即売会:交流センター。

3、その他

- ・厚労省から東日本大震災支援活動に対する感謝状(2014.5)
- ・ニッセイ財団から顕彰(2014.6)
- ・長野県長寿社会開発センターからセンター長受賞(2019.7)
- ・メディア取り上げ状況(記事、お知らせ等すべて) 171回 以上

2020.8.1

「大震災から10年」に向けての活動企画書

被災地オテガミプロジェクト

代表 久保田 洋一

1、テーマ 「東日本大震災からもうすぐ10年 私たちは忘れていません」

2、趣旨

千年に一度と言われているあの災害からもうすぐ10年になります。
被災地・陸前高田の皆さんはあの時、最高 17m 超の津波でいろんなものを失いました。家は、避難所、仮設住宅、そして今ようやく自宅に入っていますが、まだ何か足りません。しかし皆さんは、その空虚さと悲しみを胸の奥に仕舞い込んで、強く逞しく、新しい陸前高田のまちづくりに力を合わせて励んでいます。

私達「被災地オテガミプロジェクト」は、発災の翌年からずっと今日まで、陸前高田の皆さんに寄せる想いや、古本による寄付金を取り次いで参りました。

この被災10年を迎えるに当たり、改めてこの10年間の想いや新しい陸前高田へのエールを募集し現地の皆様にお届けして、活動の節目としたいと思います。よろしくご協力下さい。

3、要領

① オテガミの募集方法→(従来通り)

380-0833 長野権堂郵便局「陸前高田のみな様」宛、適宜の方法で。

②PR 方法

④チラシ：長野市内中心に配備(約120か所)、シニア大学関係・賛助会員配布等

⑤DM：オテガミ・古本協力者、絵手紙講師など

⑥マスメディアへのお願いによる広報

③ 展示及び現地への送付

④長野での展示 ⇒ 2回予定。今年11月と来年2月 各1週間

場所：東急5階(別館シェルシェとの連絡路)。

⑤現地への送付 上記長野での展示後送付。特に第2回目は3月上旬とする。

(3/11に間に合わせる)

送付先：奇跡の一本松ホール(陸前高田市市民文化会館)、アパッセなどでの展示を予定(依頼済み)。…いずれも通常「オテガミ」掲示先。

4、その他

・後援：長野市教育委員会

・長野県立長野西高校・書道部の皆さんに、テーマの揮毫についてご協力頂く。1/10の予定

・長野市・陸前高田市両市長のメッセージ依頼予定。…両市長のメッセージ写真とも既に届いています。(19年回)

5、予算 印刷費、DM、送料、その他共10万円。

以上

(ご参考)「オテガミプロジェクト」活動による取次実績(7/19現在)

- ・オテガミ：6,073件。・現地訪問(松の植樹26人、コーラス交流25人)等 16回。
- ・古本による寄付金(パリュブックス社経由) 329,756円。交流会実施(31/3, 220人)
- ・台風19号被災地(長沼・豊野)への陸前高田等からのオテガミ他 380件。

- ①、最後の「ゆるキャラグランプリ 2020」で、陸前高田の「たかたのゆめちゃん」堂々の人気1位 (10/6,7,8)
 全国のご当地キャラクターのナンバーワンを決める「ゆるキャラグランプリ 2020 THE FINAL」が岩手県滝沢市岩手産業文化センターで開かれ、「たかたのゆめちゃん」が見事優勝した。震災10年目で且つ県内での開催でもあるので、6年ぶりにエントリーしての栄冠となった。得票は28万17票。2位の大阪府泉佐野市の「ゆるナキン」27万1180票に8837票差。10回目の今回は全体で691体が出場し、東北のキャラクターとして初のグランプリ獲得で魅力発信の機会になった。市役所庁舎には「おめでとう」の横断幕、「アバッセたかた」では快挙を祝って10/9から10/11まで記念セール実施。因みに昨年は長野県で開催され、グランプリは長野県の「アルクマ」でした。(信毎10/5記事)(今回9/15の中間発表で暫定首位の発表があり、「オテガミプロジェクト」メンバー達は10/21以後毎日投票しました)。
- 2、電気バスの有用性調査へ11/3～11/16に試験運行。買い物や通院を想定し2ルート。 (10/2)
 時速20km未満の低速電動バスを走らせ、環境への負荷が少ない電気バス(屋根に設置の太陽光パネルで走行・充電)の実証試験を昨年度に続き行う。今回は観光スポットを巡るルートに加え新たに、災害公営住宅と商業施設や高田病院とを往来するバスを走らせて、買い物や通院を想定した利便性も確かめ、来年度以降の導入を目指して地域と地域を結ぶ公共交通などを補完する位置づけでの利活用を想定する。同市はSDGs未来都市に選定されており、「誰一人取り残さない」との基本理念のもと進めている。「前回の運行でもニーズの高さを感じた。今回は日常生活の場へルートを走らせる。既存の交通手段も確保しながら、スローモビリティの有効性をより具体的に調査したい」と菅野隼市政策推進室広報係長。
- 3、6次化推進協議会(会長:戸羽市長)が勉強会、付加価値高める意義学ぶ。 (10/2)
 同協議会は昨年準備会や勉強会を経て今年2月に発足、第1次産業や商工観光、金融、福祉など7分野の関係者で構成する。今回は地場産品のブランディングの方向性を共有する機会にと企画。「陸前高田は食資源に恵まれている上に、震災後生まれた全国の支援者らとのつながりも強み」と大丸有「食」「農」連携推進コーディネーター中村さん。【※6次化:1次産業(農漁業)×2次産業(製造・加工業)×3次産業(サービス・販売業など)=6次】
- 4、市内小友町干拓跡地・干潟への復興工事残土搬入中止求め、調査続ける専門家組織・日本^{ベントス}ベントス学会自然環境保全委員会(委員長:佐藤静岡大教授)が市に要望書提出。生態系^保損傷の可能性危惧。 (10/3)
 経緯:小友浦に形成されていた干潟はアサリを含む底生生物が豊富で潮干狩りを楽しむ交流の場として地域に親しまれていたが、昭和43年県営事業として干拓され水稲栽培が始まった。しかし塩害で機能不全となり、その後大震災により防潮堤が損壊し干拓地は干潟の様相に。新防潮堤が陸側200mにT・P12.5mの高さで建設され、旧防潮堤との間を干潟として再生するプロジェクトを、小友町復興まちづくり将来計画と市震災復興計画に盛り込まれた。残土搬入は今年6~7月に地元住民・漁業者向け説明会を経て合意の上9月本格化した。市は残土が将来的に干潟再生につながり得るとの見解。工期は来年3月下旬。一方同学会は震災発生の翌年24年から調査を開始。底生生物が年々増加しており31年までに161種類を確認、アサリやマガキなどが豊富で貴重な二枚貝も見つかっている。残土搬入場所は特に底生生物が多いと。要望は3点①残土投入の一時中止②再生事業の干潟像の明確化③再生事業のロードマップの明確化。
- 5、広田湾のカキ(小友産)豊洲市場で初入札、1.0k最高は5万円(昨年と同じ)。 (10/2)
- 6、震災の身元不明者の説明会、10月11日実施。身元特定へ情報提供を呼び掛け。(大船渡警察署) (10/4)
 身元不明者や行方不明者の相談会は原則月1回県内で実施。9月には相談会への問い合わせが端緒で大槌町の女性の遺骨が遺族に引き渡された。岩手県内行方不明者1112名(陸前高田202)、遺体で見発見されて身元が特定されていない方が48名(8/末、岩手県総合防災室)。
- 7、復興庁令和3年度予算の概算要求、2年度比55%減の6331億円。ハード事業の減少により過去最少。(10/6)
 インフラの復旧・整備などが減少し、7年度まで5年間の「第2期復興・創生期間」の初年度として、被災者の生活再建、地域への帰還・移住促進など本格的な復興再生に向けた取り組みを行うとしている。

年末年始 ふれあい たいけん きずな村



12月19日(土)

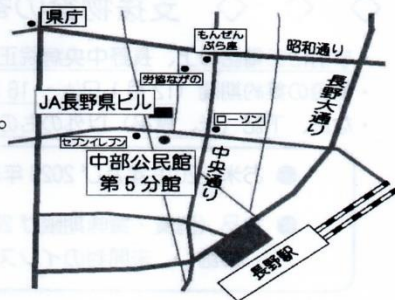
午前10時～12時

JA長野県ビル広場&中部公民館第5分館

◇◇◇ どうぞお越しください ◇◇◇

- 米、缶詰など食料品(お一人1袋)をお渡しします。
- 「無料」なんでも相談会を、中部公民館第5分館で行います。
相談のある方は11時30分までにお越し下さい。
- 感染対策のため、食事提供と日用品市はありません。

- ★ 風邪症状がある場合は、来場をご遠慮下さい。
マスクの着用をお願いします。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

SDG's ターゲット 1.2

貧困状態にある人の割合を半減させる。

主催：第11回きずな村実行委員会

1 貧困をなくそう



◆ お問い合わせ

事務局連絡先 反貧困ネット長野(小野)

直通：070-6988-2771(月～金 9:00～17:00)

長野医療生活協同組合 TEL：026-234-1476 FAX：026-234-1493

年末年始 ふれあい たいけん きずな村



12月19日(土)

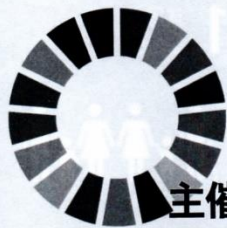
午前10時～12時

JA 長野県ビル広場&中部公民館第5分館

◇ ◇ ◇ 支援物資の寄付を受け付けております ◇ ◇ ◇

- ・事前にお電話の上、長野中央病院正面「東館」まで、ご持参いただきますようお願いいたします。
- ・物資の集約期間(12月1日(火)～16日(水) 平日午前10時～午後4時)
- ・なお、下記(米、食品)以外のものは受け取ることができませんので予めご了承ください。

- お米 2019年及び2020年収穫のもの(粳、玄米、精米)
- 食品(消費・賞味期限が2021年2月以降のもの)
缶詰・未開封のインスタント及びレトルト食品・乾麺



SDG's ターゲット12.3

世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減らす。

主催：第11回きずな村実行委員会

1 貧困をなくそう



◆ お問い合わせ

事務局連絡先 反貧困ネット長野(小野)
直通：070-6988-2771(月～金 9:00～17:00)
長野医療生活協同組合 TEL：026-234-1476 FAX：026-234-1493

生ごみ・竹(淡竹)・美味しい野菜をつなぐネットワーク

どんぐり・るるネット

みどりの市民

全体のコーディネートをしします。

生ごみの削減

会員は家庭の生ごみの削減。

野菜作り

生ごみ堆肥を入れた土で、野菜を作ります。

福祉団体等の畑



土づくり

農園の畑で一次生成物を完熟たい肥にします。

西山淡竹会

(西山地域の竹林整備)

回収と竹チップと竹パウダーの提供をしします。

るるネット会員

会員募集

生ごみを堆肥化して

*地球にボランティア

*地域づくり支援

*障害者支援



生ごみが減り、ごみ袋代が節約できます!

どんぐり・るるネットの会員になるには……

【入会】 入会申込書(裏面)を提出して下さい。

(会費の有効期限はその年度の3月末まで)

年会費◎A会員：1800円(A会員…個別回収・配達)

◎B会員：1300円(B会員…拠点回収・配達)

基材の配達と堆肥の回収で

- 基材が手に入らない!
 - 堆肥化が上手くいかない!!
 - 等々
- 悩み解消します。

会員になると……

【お願いすること】

- 家庭から出た生ごみを段ボールコンポストで堆肥化して下さい。
 - 生ごみを堆肥化したもの(以後一次生成物という)は次のいずれかの方法で土に戻してください。
- 〈方法〉

① 福祉団体等へ提供

② 各自の自宅、拠点で

*①の場合：一次生成物は2か月毎に基材配達時に自宅又は拠点まで回収に行きます。

【特典】

- 段ボール堆肥のための基材(竹チップ・竹パウダー)は提供します。2か月に一度配達します。
- 生ごみの堆肥化の方法及び段ボール箱について相談を受けます。
- 生ごみ堆肥で栽培した農産物又は加工品を提供します。

*詳しくは下記みどりの市民へお問い合わせください。



西山淡竹会が整備した竹林伐採した淡竹を粉碎して竹基材にします



NPO法人みどりの市民 <http://midorinoc.sub.jp>

長野市若里4丁目17-1信州大学工学部 UFOながの 高木研究室内
連絡先 TEL.026-269-5092 e-mail midorit18@shinshu-u.ac.jp

*この事業は2020年度ながのまちづくり活動支援事業の補助を受けて実施しています。

生ごみ・竹(淡竹)・美味しい野菜をつなぐネットワーク
どんぐり・るるネット 会員申込書

「どんぐり・るるネット」は 竹基材の配達と堆肥の回収で
生ごみ⇒堆肥⇒土⇒野菜⇒生ごみの循環をサポートします。

No.

申込日		年 月 日【新規・継続】		*登録いただいた情報は「どんぐり・るるネット」以外には使用いたしません。		
フリガナ 氏名				男 ・ 女 (代)		
会員区分 (希望する方に ○をして下さい)	A 会員 (年会費) 1,800円	B 会員 (年会費) 1,300円	回収拠点者名			
連絡先	TEL & FAX		アドレス	スマホ		
	携帯			パソコン		
住所	〒					
	*集合住宅の方は、建物の名前、部屋番号もご記入ください。					
生ごみ堆肥化経験 (該当する方に○をして 下さい)	あり	なし	会費の受領	年 月 日	金額	担当

(*年会費有効期限：その年度の3月末まで)

-----キリトリ線-----

様

年 月 日

どんぐり・るるネット申し込み確認書(控)兼領収書

該当する方に○をして下さい

(年会費はその年度の3月末まで有効)

A 会員 自宅回収	(年会費) 1,800円	B 会員 拠点回収	(年会費) 1,300円	回収拠点者名
--------------	--------------	--------------	--------------	--------

円

「どんぐり・るるネット」の

年度の年会費として受領いたしました。

支払い方法は現金支払い又は下記のどちらかの口座にお振り込みをお願いいたします。

- 八十二銀行本店営業部 普通口座 1050089
特定非営活動法人 みどりの市民
- ゆうちょ銀行 11170 9726221
特定非営活動法人 みどりの市民

特定非営活動法人 みどりの市民

代表理事 高木直樹 印 (担当)

長野市若里4-17-1信州大学工学部UFOながの高木研究室内
TEL&FAX 026-269-5092 E-mail midorit18@shinshu-u.ac.jp
URL http://midorinoc.sub.jp/

マンガで分かる!!

すいしょうかい

翠翔会



主な活動の一部

- ・無料の映画上映・セミナー等映像音響
- ・綿菓子・ポップコーン作り
- ・果実飴（りんご飴等）
- ・水風船・ぶよぶよボールすくい
- ・法律・メンタル相談



Facebook QRコード



翠翔会

メールQRコード



【TEL】080-1077-6571

【MAIL】suisyokai@gmail.com

【HP】<http://suisyokai.wix.com/suisyokai>

信州 翠翔会

検索



天空の里 いもい農場

平素、天空の里 いもい農場へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。活動の様子となりますので、ご高覧をよろしくお願いいたします。

活動通信

【発行】天空の里 いもい農場 代表 五味 美穂子（謹）

【発行日】2020年8月16日 【発行号数】2020年度 1号

【運営事務局】〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 1140-1 西沢 和宏

▽ご挨拶

日ごろ、地域の皆さまには、私たちの活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2020年度の活動は、食農体験活動に70人を超す申し込みがあり、賑やかに開催を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、すべての活動を中止しました。中止としつつも、「遊休農地としない」「荒廃農地を増やさない」という、私たちの活動の目的達成につながればと、運営スタッフのみで畑の農作業（お米作りは中止）を中心に活動を実施しています。その活動の様子を、まとめましたので、ご報告いたします。ご高覧くださいませよう、お願いします。

私たちは、長野県からの「長野県新型コロナウイルス感染症対応方針」に基づき、芋井に集う運営スタッフ一同、細心の注意を払いながら、参加者を限定する形で実施しています。昨年までのようなにぎやかな活動となりませんが、安全第一で活動を進めてまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

代表 五味 美穂子

▽当面の企画の進め方(要約・抜粋)

- (1) 飲食を伴う活動は中止。午前の農作業のみで実施。
- (2) 拠点の芋井社会会館は、トイレのみで使用。
- (3) 参加者の手洗いの徹底と、芋井社会会館の中で、参加者が手に触れる場所については、運営スタッフで、活動回の開会前と閉会后に除菌・消臭機能水でふき取りを実施。
- (4) 飛沫感染等を防ぐために、「咳エチケット」、「人と人の距離で手が届く以上の距離を保つ」、「声を出す機会にはマスクの着用」。
- (5) 風邪等の症状がある方、感染拡大警戒地域・緊急事態宣言対象区域にお住まいの方、海外の検疫強化対象地域から帰国して14日以内にある方の参加は認めない。
- (6) 重症化しやすい人（ご高齢・基礎疾患がある方等）は、参加について、慎重に判断を求める。
- (7) 参加者の中に感染者がいた場合、運営事務局から全員へ連絡を実施。その後、関係機関の指示に従った対応の了承が参加条件。
- (8) 長野県が示す区分で、レベル3になった場合は、活動そのものを中止し、最低限の運営スタッフのみで農作業を実施。

▽4月25日(土)ジャガイモ・長ネギの植え付け



天空の里 いもい農場は、新型コロナウイルス拡大防止と、地域の安全を守るために、2020年度の活動をすべて中止としましたが、運営スタッフのみで、来年へつなぐ最低限の活動でスタートを切りました。



(植え付けをする、運営スタッフと子どもたち)

▽5月23日(土)リンゴの摘果・サツマイモの植え付け・田んぼの播種作業を実施



運営スタッフのみで、農作業の活動と和田農園のお手伝いを組み合わせたハイブリットな活動を実施しました。

▽6月6日(土)広瀬区の一斉清掃に参加



清掃場所は、芋井社会会館から畑に通じる農道。農道に沿った草刈りを、農道を活動で活用しているいも農場の谷川と西沢、いづな学園グリーンヒルズ小・中学校の太田先生と直江先生の4人で分担して実施しました。

▽6/20(土)・7/12(日)・7/25(土)
「草取りをしよう！」企画を実施。



(収穫は嬉しい！参加者と収穫した野菜たち(7/12))

この企画から、2020年度参加申込をしていただいた方を限定して参加を募り、活動再開へ向けた試行を始めました。6/20は1家族、7/12は2家族の参加がありました。



(手分けをして草取り(6/20))

圃場の全面、雑草に覆われていて、手分けをして草取りを実施しました。きれいになった圃場を見ると、達成感を味わうことができました。

※7/25「草取りをしよう！」企画は、雨天のため中止としました。

▽6/20旧・芋井小学校第二分校のプール跡で
アカハライモリ調査



(アカハライモリを観察する子どもたち)

本来、田んぼの生きもの調査を実施する予定だった6/20。畑から芋井社会会館に戻る途中にあるプールに立ち寄り、急速アカハライモリ調査を実施。呼吸をしに水面に浮かび上がるタイミングを見計らって網で捕獲。30分足らずで20匹ほどになりました。

▽8/8(土)には「ジャガイモ収穫！」企画



2020年度参加申込をしていただいた方を限定して参加を募り、ジャガイモ収穫の農業体験を開催しました。31人(運営スタッフ込み)が集いました。



(ジャガイモを仕分けする参加者と運営スタッフ)

今年の収穫量は約150kgとなりました。昨々が約300kgだったので、半減です。例年、収穫したジャガイモの一部は信州子ども食堂やフードバンク信州へ寄贈していましたが、今年は団体の運営費捻出のため、約60kgを「都内のマルシェ・子どもの貧困対策の活動」を実施するタウンファーム信州へお渡ししました。

▽安全第一の運営と次につながる活動を目指します。

引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の状況と県から発信のある情報をもとに、活動を慎重に進めてまいります。